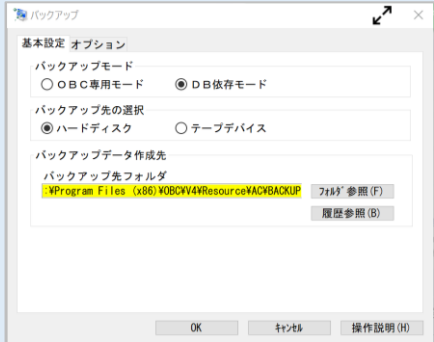


【全製品共通】再設定項目

確認	再設定箇所	対象メニュー	実施内容
□	印刷設定	<ul style="list-style-type: none">各メニュー-[F2:印刷等]ボタン[導入処理]-[運用設定]-[帳票別プリンタ登録]メニュー	<p>設定内容はそのまま移行されます。 ただ、今回ソフト自体が変わっているため、念のためテスト印刷を行ってください。</p> <p>※奉行10シリーズでご利用されていた用紙（サプライ）は 奉行11シリーズでも引き続きご利用いただけます。</p>
□	バックアップ先	<ul style="list-style-type: none">[データ領域管理]-[バックアップ/復元] -[一括バックアップ]メニュー[随時処理]-[バックアップ]メニュー製品終了時に表示されるメッセージからバックアップ	<p>「バックアップデータ作成先」は、 以前のバックアップの保存先が表示されます。</p> <p>ただ、サーバーが新しくなった場合は特に バックアップの保存先をご確認いただき、 一度バックアップを実行してください。</p> 


【勘定奉行】再設定項目

確認	再設定箇所	対象メニュー	実施内容
▼ 電子申告をしている場合			
<input type="checkbox"/>	電子証明書	・ [導入処理]-[電子申告情報変更] - [納税者電子証明書変更]メニュー	電子証明書をファイルの保存先のパスが変更になる場合は、電子証明書を再設定してください。

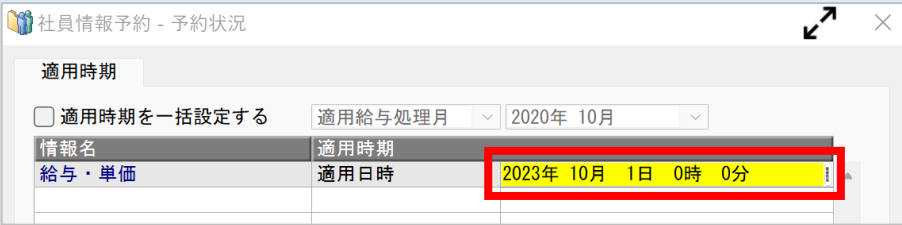
【固定資産奉行】再設定項目

確認	再設定箇所	対象メニュー	実施内容
□	資産登録の「画像」「書類」 ※画像ファイルの保存方法が「ファイルリンク」の場合	・[資産管理]-[資産登録]-[資産登録]メニュー	[会社運用設定]メニュー<資産設定>タブの「画像ファイル保存方法」「確認書類保存方法」が「1.ファイルリンク」で設定されていて、奉行10シリーズの時から画像ファイルの保存先のパスが変更になる場合は、画像を再設定してください。
▼ 電子申告をしている場合			
□	電子証明書	・[導入処理]-[電子申告情報変更] -[納税者電子証明書変更]メニュー	電子証明書をファイルの保存先のパスが変更になる場合は、電子証明書を再設定してください。
▼ 勘定奉行へ仕訳連動をしている場合			
□	仕訳連動設定 ※特定条件に該当する場合だけ要設定 (条件は「実施内容」参照)	・[随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳連動初期設定]メニュー	以下、全ての条件に一致する場合は再設定が必要です。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 連動方法が直接連動 2. 仕訳連動先の勘定奉行のサーバーが固定資産奉行と異なる 3. 勘定奉行のサーバーが入れ替えになる この場合、当メニュー<基本設定>タブの【連動先情報】で[会社変更(C)...]ボタンから連動先のデータを再選択してください。 

【給与奉行】再設定項目

確認	再設定箇所	対象メニュー	実施内容
▼ 電子申請をしている場合			
<input type="checkbox"/>	電子証明書	・ [導入処理]-[電子申請情報登録]-[電子証明書変更]メニュー	電子証明書をファイルの保存先のパスが変更になる場合は、電子証明書を再設定してください。
▼ 勘定奉行へ仕訳連動をしている場合			
<input type="checkbox"/>	仕訳連動設定 ※特定条件に該当する場合だけ 要設定 (条件は「実施内容」参照)	・ [随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳連動初期設定]メニュー	<p>以下、全ての条件に一致する場合は再設定が必要です。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 連動方法が直接連動2. 仕訳連動先の勘定奉行のサーバーが給与奉行と異なる3. 勘定奉行のサーバーが入れ替えになる <p>この場合、当メニュー<基本設定>タブの【連動先情報】で[会社変更(C)...]ボタンから連動先のデータを再選択してください。</p> 

【給与奉行】再設定項目

確認	再設定箇所	対象メニュー	実施内容
▼ 勘定奉行[個別原価管理編] / [建設業編] へ労務費データ連動をしている場合			
□	労務費データ連動設定 ※特定条件に該当する場合だけ 要設定 (条件は「実施内容」参照)	・ [随時処理]-[労務費データ連動] -[労務費データ連動設定]メニュー	<p>以下、全ての条件に一致する場合は再設定が必要です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 連動方法が直接連動 2. 仕訳連動先の給与奉行のサーバーが固定資産奉行と異なる 3. その勘定奉行のサーバーが別のサーバーになる <p>この場合、当メニュー<基本設定>タブの【連動先情報】で[会社変更(C)...]ボタンから連動先のデータを再選択してください。</p>
▼ 給与奉行V ERPと人事奉行V ERPをあわせてご利用で予約機能を使用している場合			
□	社員情報予約 ※適用時期に「適用日時」を 指定している場合だけ要設定	・ [社員情報]-[社員情報予約]-[社員情報予約]メニュー	<p>適用時期で「適用日時」を指定している場合だけ再設定が必要です。 ※なお、適用時期で「適用日時」が選択できるのは、人事奉行を一緒にお持ちの場合になります。</p> <p>この場合、当メニューで以下の手順で再設定してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① [社員情報予約]メニューを開きます ② 予約情報が登録されている社員を呼び出します ③ [F8: 予約状況]ボタンを押します ④ 「適用日時」が正しいことを確認し、[OK]ボタンを押します  <ol style="list-style-type: none"> ⑥ [F12: 登録]ボタンを押します

【人事奉行】再設定項目

確認	再設定箇所	対象メニュー	実施内容
<input type="checkbox"/>	社員情報の「画像」「書類」 ※画像の保存方法が「ファイルリンク」の場合	・[社員情報]-[社員情報登録]-[社員情報登録]メニュー ・[社員情報]-[画像一括登録]メニュー	[社員情報項目設定]メニュー<画像設定>タブの「保存方法」が「1.ファイルリンク」で設定されていて、奉行10シリーズの時から画像ファイルの保存先のパスが変更になる場合は、画像を再設定してください。

▼ 人事奉行V ERPシリーズご利用で予約機能を使用している場合

<input type="checkbox"/>	組織改編 ※予約登録をしている場合だけ 要設定	・[組織情報]-[組織改編]-[組織改編]メニュー	<p>改編予約をしている場合だけ再設定が必要です。</p> <p>この場合、当メニューで以下の手順で再設定してください。</p> <ol style="list-style-type: none">①[組織改編]メニューを開きます②組織体系を選択し[OK]ボタンを押します③改編日時が正しいことを確認し、[OK]ボタンを押します <ol style="list-style-type: none">④[OK]ボタンを押します⑤[F2:改編予約]ボタンを押します
--------------------------	-------------------------------	---------------------------	---

<input type="checkbox"/>	単価改定 ※予約登録をしている場合だけ 要設定	・[社員情報]-[社員情報更新]-[単価改定]-[単価改定]メニュー	<p>改定予約をしている場合だけ再設定が必要です。</p> <p>この場合、当メニューで以下の手順で再設定してください。</p> <ol style="list-style-type: none">①[単価改定]メニューを開きます②パターンを選択し[OK]ボタンを押します③[画面(V)]ボタンを押します④[F2:改定予約]ボタンを押します
--------------------------	-------------------------------	------------------------------------	---

【人事奉行】再設定項目

確認	再設定箇所	対象メニュー	実施内容
<input type="checkbox"/>	社員情報予約 ※適用時期に「適用日時」を指定している場合だけ要設定	・[社員情報]-[社員情報予約]-[社員情報予約]メニュー	<p>適用時期に「適用日時」を指定している場合だけ再設定が必要です。</p> <p>この場合、当メニューで以下の手順で再設定してください。</p> <ol style="list-style-type: none">①[社員情報予約]メニューを開きます②[OK]ボタンを押します③予約情報が登録されている社員を呼び出します④[F8:予約状況]ボタンを押します⑤「適用日時」が正しいことを確認し、[OK]ボタンを押します⑥[12:登録]ボタンを押します
<input type="checkbox"/>	雇用転換情報入力 ※適用時期に「適用日時」を指定している場合だけ要設定	・[社員情報]-[社員情報更新]-[雇用転換]-[雇用転換情報入力]メニュー	<p>適用時期で「適用日時」を指定している場合だけ再設定が必要です。</p> <p>この場合、当メニューで以下の手順で再設定してください。</p> <ol style="list-style-type: none">①[雇用転換情報入力]メニューを開きます②[OK]ボタンを押します③「雇用転換日」を入力し、予約情報が登録されている社員を呼び出します④[F8:予約状況]ボタンを押します⑤「適用日時」が正しいことを確認し、[OK]ボタンを押します⑥[F12:登録]ボタンを押します
<input type="checkbox"/>	異動発令 ※予約登録をしている場合だけ要設定	・[人事異動]-[異動発令]メニュー	<p>改定予約をしている場合だけ再設定が必要です。</p> <p>この場合、当メニューで以下の手順で再設定してください。</p> <ol style="list-style-type: none">①[異動発令]メニューを開きます②パターンを選択し[OK]ボタンを押します③[画面(V)]ボタンを押します④[F2:改定予約]ボタンを押します


【法定調書奉行】再設定項目

確認	再設定箇所	対象メニュー	実施内容
▼ 電子申告をしている場合			
<input type="checkbox"/>	電子証明書	・ [導入処理]-[電子申請情報登録] -[納税者電子証明書変更]メニュー	電子証明書をファイルの保存先のパスが変更になる場合は、電子証明書を再設定して下さい。

【就業奉行】再設定項目

確認	再設定箇所	対象メニュー	実施内容
▼ タイムレコーダの自動読込機能や通知機能を使用している場合			
<input type="checkbox"/>	自動読み込み通知	<ul style="list-style-type: none">・[タイムレコーダ]-[タイムレコーダ自動読込設定] -[タイムレコーダ自動読込設定]メニュー・[勤怠処理]-[未打刻通知]-[未打刻通知設定]メニュー・[勤怠処理]-[時間外労働警告通知] -[時間外労働警告通知設定]メニュー・[勤怠処理]-[有休消化警告通知] -[有休消化警告通知設定]メニュー	奉行10シリーズで自動読込や通知が引き続き送られないように、奉行11シリーズにデータ移行後は奉行10シリーズの各メニューで登録されているパターンを削除します。

【商奉行／蔵奉行】再設定項目

確認	再設定箇所	対象メニュー	実施内容
▼ 勘定奉行へ仕訳連動をしている場合			
<input type="checkbox"/>	仕訳連動設定 ※特定条件に該当する場合だけ 要設定 (条件は「実施内容」参照)	・ [随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳連動初期設定]メニュー	<p>以下、全ての条件に一致する場合は再設定が必要です。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 連動方法が直接連動2. 仕訳連動先の勘定奉行のサーバーが商奉行／蔵奉行と異なる3. 勘定奉行のサーバーが入れ替えになる <p>この場合、当メニュー<基本設定>タブの【連動先情報】で[会社変更(C)...]ボタンから連動先のデータを再選択してください。</p> 

【申告奉行[法人税・地方税編]】再設定項目

確認	再設定箇所	対象メニュー	実施内容
▼ 電子申告をしている場合			
<input type="checkbox"/>	電子証明書	・ [導入処理]-[電子申告情報変更] -[納税者電子証明書変更]メニュー	電子証明書をファイルの保存先のパスが変更になる場合は、電子証明書を再設定してください。
▼ 勘定奉行／固定資産奉行／申告奉行[内訳書・概況書編]と連動している場合			
<input type="checkbox"/>	連動設定 ※特定条件に該当する場合だけ 要設定 (条件は「実施内容」参照)	・ [随時処理]-[奉行連動データ受入]-[連動設定] -[連動初期設定]メニュー	以下、全ての条件に一致する場合は再設定が必要です。 1. 連動方法が直接連動 2. 仕訳連動先の製品のサーバーが申告奉行[法人税・地方税編] と異なる 3. 仕訳連動先の製品のサーバーが入れ替えになる この場合、当メニュー<基本設定>タブの[連動先選択(A)...]ボタンから連動先のデータを再選択してください。
▼ 勘定奉行へ仕訳連動をしている場合			
<input type="checkbox"/>	仕訳連動初期設定 ※特定条件に該当する場合だけ 要設定 (条件は「実施内容」参照)	・ [随時処理]-[税効果会計]-[仕訳伝票作成] -[仕訳連動初期設定]メニュー	以下、全ての条件に一致する場合は再設定が必要です。 1. 連動方法が直接連動 2. 仕訳連動先の勘定奉行のサーバーが申告奉行[法人税・地方税編] と異なる 3. 勘定奉行のサーバーが入れ替えになる この場合、当メニュー<基本設定>タブの【連動先情報】で[会社変更(C)...]ボタンから連動先のデータを再選択してください。

※ 注意 ※

申告奉行11シリーズは平成31年以降の税制に対応したプログラムのため、平成30年以前にあったメニューは存在しません。
そのため、平成30年度以前のメニューについて確認したい場合は、申告奉行10シリーズでご確認ください。

【申告奉行[内訳書・概況書編]再設定項目

確認	再設定箇所	対象メニュー	実施内容
▼ 勘定奉行／固定資産奉行／商奉行／蔵奉行と連動している場合			
□	連動設定 ※特定条件に該当する場合だけ 要設定 (条件は「実施内容」参照)	・ [随時処理]-[奉行連動データ受入]-[連動初期設定]メニュー	<p>以下、全ての条件に一致する場合は再設定が必要です。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 連動方法が直接連動2. 仕訳連動先の製品のサーバーが申告奉行[内訳書・概況書編] と異なる3. その勘定奉行のサーバーが別のサーバーになる <p>この場合、当メニュー<基本設定>タブの[連動先選択(A)...]ボタンから連動先のデータを再選択してください。</p>